

ビジネスパーソンに必要なスタイルトレーニング

～顧客目線で考える 服装変革による営業のメリット～

第2回 ジャケットとパンツで きちんと感を演出

ユームテクノロジージャパンの全社員が服装変革に取り組んだきっかけは、服装を変えることで営業上のメリットがあることを実感したという、松田しゅう平社長(自身の強烈的な体験にあった。服装変革に取り組む前の松田社長自身のテーマは、最先端のAIを使った学習プラットフォームのITベンチャーとして、トレンドを取り入れつつも、主要取引先となる大手保険会社、金融機関、製薬会社から信頼されるきちんと感のある服装を身につけることだった。同社の表現力訓練ツール「AIコーチ」で、アイコンタクト、表情、会話スピード、流暢さ、明瞭さ、ジェスチャーのトレーニングは完璧。残るのは服装のみだった。松田社長の服装変革はどのように進められたのだろうか。

ビジネスマンとしての風格をどうつける

松田社長の直観は当たっている。ビジネスへの外見の影響調査(吉野ヒロ子、石川慶子、2019年、n=977、別掲グラフを参照)では、「プレゼンの成否には、担当者の身だしなみや振る舞い方も影響する」と回答した人は男性65・1%、女性74・2%。この数字はそのままりスクといえる。

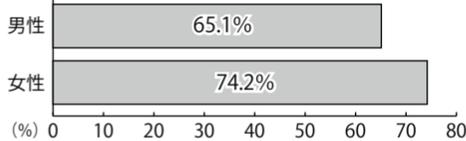
服装変革の現場を担ったのは、スタイリストの高野いせこさん。高野さんは、スタイリスト歴15年、タレント事務所を設立した経験がある。



執筆者
広報コンサルタント
日本リスクマネジャー
& コンサルタント協会副理事長
石川慶子

ビジネスへの外見の影響力 (n=977)

プレゼンの成否には担当者の身だしなみや振る舞い方も影響する



(「よくあてはまる」「ややあてはまる」「どちらとも言えない」「ややあてはまらない」「あてはまらない」の選択肢のうち、「よくあてはまる」「ややあてはまる」を選択した比率)

(吉野ヒロ子、石川慶子、2019年)



柔らかい素材だと形が作りにくい。綿や麻で四角く入れるとまとまりやすい



シャツはしわを伸ばして整えて着る



同行シヨッピングの様子の動画を視聴できる (UMU)



ユームテクノロジージャパンの松田しゅう平社長

「隠したい部分を強みに変える」
レクチャー付き同行シヨッピングを行ったのは、スーツの歴史がある英国系シヨップ。オーダーメイド対応だけでなく、最新のトレンド商品も取り揃えている。スタイリストの高野氏は事前

に松田社長のサイズを把握し、試着できる服を複数準備。お店で出迎えた際、ご本人の魅力と課題を指摘した。
高野「松田さんは清潔感がありますね。ポケットトチーフをしていただいているのは公式感を高めていてよいのですが、このチーフの素材は柔らかいので形が整えにくいでしょう。綿や麻の素材のチーフにするのが維持されやすいのでおすすめ。白いハンカチを四角く豊んで入れるだけで、きちんと感が演出できます」

威厳のある服装選びと着こなし

この日のテーマは「ジャケットとスタイルできちんと感」。ジャケットで必ず持ちたいのが紺色だ。ただし、素材とデザインには注意が必要だと高野氏は力説する。
また、きちんと感の演出で見逃してはいけないのがサイズ感。そのため、今回は、威厳を出したいということですが、

高野「二つの選択肢があります。脱毛してしまおう方法と、いっそのことひげを生やしてしまう方法です。こちらのシヨップの店員の皆さんは皆ひげを生やしていますが、清潔感がありますよ。ひげは上手に整えればいいのです。隠したい部分、気にならなっている部分は強みに変える逆転の発想にするといいですよ」
松田「それは意外です。生やすという選択もあるのです。ひげにはちょっと憧れがあります。脱毛も検討します」

次回からは、ユームテクノロジージャパン全社員による服装変革の挑戦。男性はスリーピースのオウスタースーツ。なぜ、スリーピースなのか、スーツの歴史や着こなしマナーの話を交えながら解説する。